



宮城県古川高等学校 同窓会報

第六十三回定期戦 古高勝利！連敗阻止！

4月27日（水）築館高校を会場に第63回燕紫定期戦が行われました。3月の地震の影響で予定していた体育館が使用できないことや、会場での応援人数や応援方法にもコロナの影響がまだ残っている中で開催ということでは、開会式は対面形式では行わず、事前に撮影したビデオを両校で視聴する形で行いました。今年度在籍している生徒たちは、伝統的な開会式を経験していません。これからのように引き継いでいくのが課題となります。

対戦結果は表に書いてあるとおりです。通算成績を42勝17敗3分としました。



定期戦対戦結果

種目	点数		勝敗	種目	点数		勝敗
	古高	築高			古高	築高	
テニス男子	4	1	○	剣道男子	4	0	○
テニス女子	3	2	○	剣道女子	1	1	×
男子バスケ	47	69	×	(代表戦)			
女子バスケ	58	43	○	サッカー	1	0	○
男子バレー	2	0	○	バドミントン男子	3	2	○
女子バレー	0	2	×	バドミントン女子	0	5	×
男子卓球	3	2	○	綱引き	実施せず		—
女子卓球	2	1	○				
9勝4敗							





宮城県古川高等学校同窓会
会長 伊藤 貞嘉 (昭和47年卒)

ご挨拶

古高同窓会の皆様にはご健勝にて、益々ご活躍のことと存じます。
新型コロナウイルス感染症はやや落ち着いた様子が見せ始めていますが、まだまだ油断できません。第4回目のワクチンも始まります。新しい変異株になり、感染力は高まっていますが、重症者や死亡者の割合は少なくなつて、弱毒化しているような印象を受けます。しかし、インフルエンザと比べてもまだまだ重症化の割合は高く、後遺症の問題もあります。油断せず、このウイルスとうまく付き合ひながら、

社会活動を維持するように工夫しなければなりません。現在のところ、古高同窓会も開催予定となっております。皆様とお会いできることを期待しており、かつ、楽しみにしております。
この3月に卒業した古高生の国公立大学への合格者は96名で過去2番目に多い結果でした。しかし、旧7帝大への合格者は少なく、医学部医学科への合格者は無で、満足できるものはありません。是非、目標を高く持って健闘してもらいたいものだと思います。今年から20年ほど前に、「ウエ

ツジ」という雑誌を新幹線の中で読みましたが、その中で、難関大学に多くの合格者を誇る有名な予備校の名物教師が以下のようなことを言っていました。「今の大人は子供に、感動や夢を伝えていない。中学生、高校生は良いものから感動する力を持っている。そして感動することや夢を持つことが人を育てる。先日も書きましたが、我々は「イナシーヤ(それなりにうまくいっている状態で、自ら変革することなく、何となくそのまま続けること)」に毒されたいように、常に目標を高く持たなければなりません。同窓会としても、教職員等と相談しながら支援をしていきたいと思ひます。
ロシアのウクライナへの

私に教授になって(1997年)間もないころの医学部教授会の忘年会で、九十歳を超える元医学部第二外科教授の榎哲夫名誉教授が「争い」というのは困ったもの。誰か皆が仲良くする方法を見出して欲しい」と笑顔で、そして真剣に話しておられたのを思い出します。科学や技術は進歩しても、人は賢くなつていないのでしょうか。
最後に、古川高校の益々の発展と、古高同窓会の皆様のご健勝を祈念いたします。



宮城県古川高等学校
校長 藤川 卓志 (昭和56年卒)

校長あいさつ

同窓会の皆様には、日頃より本校教育活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。お陰様で今年の卒業生の進学状況は国公立大学現役合格96名、東北大学への現役合格者も4名に増加し、この勢いに乗ってさらなる飛躍を目指しております。4月ような状況下ではありますが、築館高校との定期戦を応援生徒を入

学部10名を目指すべしという檄が飛ばされ、新入生の心に灯を点して頂きました。学校では今年もコロナ感染症対策を継続しながら学校生活を継続しております。密集を防ぐ、大声の禁止等により入学式や対面式、応援練習などが制限を受けております。そのような状況下ではありますが、築館高校との定期戦を応援生徒を入

球部、合唱部の東北大会出場(一部出場権獲得後大会中止)など多くの部がその成果を形として残しております。
令和4年度の開校記念講演は昨年10月に凸版印刷社長の唐秀晴氏(古高26回生)が大崎市古川で講演した時のDVDを視聴しました。大崎地区はコロナ感染症の勢いが収まらず、三密を避ける配慮が必要となりました。氏の座右の銘は「質朴剛健」だそうです。講演の最後に在校生に向けて次のようなメッセージを

残してくださいました。「成功の反対は挑戦しないことである。挑戦すれば例え失敗したとしても『経験』という財産が残る。挑戦は自分への投資である」。在校生にとって、とてもいい時間を持つことができたことと感謝しております。
最後になりましたが、同窓会の皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念しております。

梅雨の候、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度は3年ぶりに8月11日(木)にインパル蒲島にて古川高校同窓会総会を開催いたします。今年度は2年遅れになります。同窓会設立110周年記念行事として、本校OB音楽家による演奏会を盛大に実施いたします。また感染対策を十分に施して懇親会も実施いたします。現在開催に向けて鋭意準備を進めているところでございます。過去に出席いただいた方へは往復はがきにてご案内いたします。また、各年度幹事(今年度は高26・27・28・33・38・43・48・53回生)や各支部等でチケット販売をお願いしております。本部事務局等でも対応いたしますので出席いただける方はご連絡いただければと思います。3年ぶりの開催になりますのでお時間に都合がつく方は是非ご参加ください。会員の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**令和4年度
古川高校同窓会
総会開催について**



一年 戸田 青依
二年 池田 直樹
三年 佐藤 杏美

令和4年度 同窓会奨学生

各学年の成績優秀な生徒に同窓会から奨学金を授与するもの。(一年生は入試成績が抜群なもの。二・三年生は前年度成績優秀なもので、未授与者。金額は六万円)

お礼の言葉

この度は古川高校同窓会奨学生に選んでいただき、本当にありがとうございます。初めて選抜のお知らせを受けた際、奨学金制度の存在は認知してはいたものの、まさか自分が選んでいただけると思っておらず、大変驚きました。
今回このような名誉ある奨学生に選抜していただいたことを非常に嬉しく思います。一方で、今後日々

御礼の言葉

この度は古川高校同窓会奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。私

の予習と復習を始めとする学習になお一層励み、その名に恥じぬ言動を心がけたいと身の引き締まる思いです。
今年度は、例年と形式は異なるものの船形山登山が実施され、騰紫定期戦も限りなく例年に近い形で実施されるなど、新型コロナウイルス感染症関連の制限が徐々に緩和され始めています。このような状況の中、私の周囲には自分の選択肢を広げられる機会が溢れています。それは授業や部活動であったり、先生方や級友とのコミュニケーションであったりと様々ですが、どの経験も自分の将来に生きてくると確信させられる、とても充実したものです。このような経験を糧として、進路実現のために日々精進してまいります。この度は奨学生に選んでいただき本当にありがとうございました。

お礼の言葉

この度は古川高校同窓会奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございます。

縮まる思いです。そして、希望進路を実現するために、二年生としての期間に何をやるかが重要になってくると先輩方が仰っていました。『文武両道』の意識を継続し、今まで以上に勉学と部活動に励むとともに、自分の進路についても具体的に考えていきたいです。自分の興味のある分野に限らず、自分があまり知らないような分野の情報・文章に触れることで自分の視野を広げていきたいです。今回奨学生に選ばれたという自覚を持ち、学校生活を送りたいです。最後になりましたが、今まで支えてくださった家族とご指導くださった先生方本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

令和4年度 渡邊奨学金

年間勉強に励むことはできなかったかもしれないと心からの感謝を伝えるとともに、これからも切磋琢磨し合える仲間と日々邁進して恩を返していきたいです。今の目標はやはり志望校合格です。自分の弱さに負けず、絶対に諦めないという覚悟を持って、最後までやり抜きたいと思ひます。そして、残りの学生生活の中で価値のある人間を目指したい、人としても成長していきたいです。最後になりましたが、このような機会を設けていただき、本当にありがとうございます。

感謝の言葉

この度は渡邊奨学生に選んでいただきありがとうございます。名譽ある奨学生に自分が選抜されるとは全く想像していません。お話をいただいたときはとても驚きました。それと同時に、古川高校に入学してからの生活で自分が頑張ってきたことを、このような形で評価していただいたことに深く喜びを感じております。

感謝の言葉

私たちが75回生の入学は、新型コロナウイルスの流行開始とほぼ同時期で、生活のすべてが、例年通りではありませんでした。その中で、部活動との両立を図りながら勉学に励み、高校生生活を送ることは、簡単ではありませんでした。が、受験を控える最高学年になった今、支えてくれた多くの人たちには、感謝の気持ちでいっぱい입니다。受験生として過ごす高校生活最後の一年の最終目標は、なんといっても進路実現です。大学受験という大きな壁に対して、不安や心配はまだ大きく、目標と現実の差に愕然とすることもたくさんありますが、その中でも、多くの仲間た

感謝の言葉

ちと切磋琢磨しいながら、最高形を目指して行きたいと思ひます。最後になりましたが、このような機会に恵まれたことに深く感謝します。ありがとうございます。

感謝の言葉

この度は古川高校同窓会奨学生に選んでいただきありがとうございます。今まで努力してきた結果、このような名誉ある奨学生に選ばれ、とても嬉しく思います。その一方で、奨学生に選ばれたからには、より学業に励んでいかなければならないと思ひました。昨年度は、新型コロナウイルスにより、普段とは違う一年だったと思ひますが、その中でも乱されることがなく学習に専念することができたことが、良い成績に繋がったのだと思ひます。しかしこれは自分一人だけの力でできたことではなく、家族や先生方の厚いサポートがあったからこそです。だからこそ、今回奨学生に選ばれたことは恩返しのひとつになったと思ひます。三年生となり、これから進路実現のため今まで以上に大変になると思ひます。しかし、今回奨学生に選んでいただいたことを励みにして、より一層努力していきたいと思ひます。最後に、この度は奨学生に選んでいただき本当にありがとうございます。



三年 菅原結衣菜
三年 安村 峻

※渡邊奨学金は本校高11回卒業生渡邊義之氏の篤志寄附を奨学金基金とし、平成28年度より奨

古高同窓会 令和3年度 会計決算書・令和4年度 予算書

I 一般会計

令和3年度	収入決算額	3,792,894円	令和4年度	収入予算額	4,700,000円
	支出決算額	1,825,173円		支出予算額	4,700,000円
	差引残高	1,967,721円 (次年度へ繰越)		差引残高	0円

1. 収入の部

項目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	比較増減	摘要
繰越金	1,429,514	1,429,514	0	
年会費	2,000,000	1,646,868	▲ 353,132	2,000円×907名 (昨年987名) コンピニ4名、郵便局419名、過年度24名 取戻手数料(コンピニ289,760円、郵便局7,372円)
入会金	690,000	690,000	0	3年生(3,000円×229名)
総会会費	0	0	0	今年度は中止
雑収入	30,486	26,512	▲ 3,974	貯金利子、祝儀、記念誌販売、寄付
計	4,150,000	3,792,894	▲ 357,106	

2. 支出の部

項目	令和3年度予算額	令和3年度決算額	比較増減	摘要
運営費	780,000	285,067	▲ 494,933	
消耗費	70,000	101,212	▲ 31,212	事務用品、コピー用紙
通信費	80,000	9,526	▲ 70,474	はがき、切手など
旅費	200,000	0	▲ 200,000	支部同窓会への旅費
慶弔費	30,000	110,400	▲ 80,400	生花・弔電代
会議費	300,000	3,759	▲ 296,241	支部同窓会への祝儀、役員会経費
総会経費	50,000	0	▲ 50,000	飲食費・コピー代
広告費	50,000	60,170	▲ 10,170	新聞広告掲載代、野球ハンフレット
事業費	1,660,000	1,540,106	▲ 119,894	
記念品	260,000	222,930	▲ 37,070	卒業証書ホルダー、蛍雪パッチ
奨学金	0	0	0	サポーター基金から支出
助成金	0	0	0	サポーター基金から支出
会報発行	1,100,000	1,317,176	▲ 217,176	会報115号印刷費(8,500部、221,595円) 郵送料(1,095,581円)
その他	300,000	0	▲ 300,000	ソフト名簿管理代、会報発送手数料 データ処理代
予備費	1,710,000	0	▲ 1,710,000	
	1,710,000	0	▲ 1,710,000	
計	4,150,000	1,825,173	▲ 2,324,827	

令和4年度予算額	摘要
1,967,721	
1,634,400	900名(見込み) 手数料は昨年度増員 額より9.2%として算出
675,000	3年生225名
400,000	100名(予定)
22,879	寄付、貯金利子、他
4,700,000	

令和4年度予算額	摘要
1,630,000	
500,000	事務局員経費 (300,000円)を計上
40,000	
200,000	
120,000	
100,000	
600,000	講師謝礼、会場費
70,000	
1,540,000	
240,000	
0	
0	
1,200,000	116号印刷費 (7,500部予定)、郵送料
100,000	
1,530,000	
1,530,000	
4,700,000	

II 特別会計

令和3年度決算	
繰越金	572,900円
収入決算額	31円 (利子)
支出決算額	30,855円 (ホームページ管理費、データ修正費)
差引残高	542,076円 (次年度へ繰越)

令和4年度予算	
繰越金	542,076円
収入予算額	0円 (ホームページ広告、利子)
支出予算額	40,000円 (ホームページ管理費、データ修正費)
差引残高	502,076円

III サポート基金 (令和2年度より新設)

繰越金	2,508,994円
収入決算額	2,259,131円 協力者226名 (昨年265名) 手数料41,463円
支出決算額	860,000円 奨学金360,000円、部活動補助500,000円
差引残高	3,908,125円 (次年度へ繰越)



同窓会ホームページ

http://furuko-doso.com

令和3年度 事業報告

月日(曜)	事業内容
4月8(木)	第1回校内役員会
4月8(木)	入学式・記念品(蛍雪パッチ)贈呈
5月12(水)	中止
5月25(火)	同窓会会計監査 同窓会奨学金授与式・渡邊奨学金授与式、 第1回本部役員会
6月中止	松山同窓会総会
6月中止	三本木支部総会
6月中止	同窓会報発送(約7,000部発送)
7月中止	在京同窓会総会
7月中止	年度当番幹事会
7月中止	第2回年度当番幹事会(本部役員合同)(総会役割分担確認)
8月中止	令和2年度 同窓会総会(於: グランド平成)
8月中止	加美町支部総会
8月中止	岩出山支部総会
8月中止	色麻支部総会
10月中止	「ふるさと探訪ツアー2021」(在京・在仙・本部合同企画)
11月中止	県庁・古高同窓会総会
11月中止	高校教職員蛍雪会総会
11月中止	関西蛍雪会総会
12月中止	第2回本部役員会
12月中止	県庁大崎会総会
12月中止	旧古川市内四校関東合同新年会
12月28(月)	同窓会入会式
3月1(火)	第74回卒業証書授与式にて記念品(証書ホルダー)贈呈 東京蛍雪賞・仙台蛍雪賞授与

令和3年度 「蛍雪賞」受賞者

- 【東京蛍雪賞】**
 蛍雪賞とは、年度ごとに、各種活動で全国大会出場もしくは同等の成績を上げた生徒に贈られる賞で、毎年卒業式(一・二年生は前日)に全校生徒の前で、学校長より校章を記した「蛍雪の盾」が授与されるものである。
- 令和3年度全国高等学校総合体育大会 北信越総体 2021 ソフトボール競技 出場
伊東 遼徳・北川翔大・須藤 柊真・黒沼 尚大
澁谷 怜・高橋 洋皓・岩谷 拓・木村 斗南
荒川 瑞貴・今野 岳流・菅原 理希・小島 昂大
菅井 星風・芦田 蒼依・鎌田 侑平・高橋 征寛
 - 第36回全国高等学校文芸コンクール 詩部門 優良賞
小野 史瑠
村山 真子
 - 第71回全国高等学校スキー大会 クロスカン トリー 遊佐 眞素誠

御礼の言葉

前生徒会長 北川翔大
 この度は、東京蛍雪賞という大変名誉ある賞を受賞させていただきました。心から感謝申し上げます。今までの努力が評価されたのだという達成感とともに、この名に恥じぬよう、これからより一層の努力をしようとする引き締まる思いです。

さて、この三年間を振り返りますと、古川高校で過ごした時間はとても有意義で充実したものであったと思います。「文武両道」という校訓を常に意識している中で、学校のリーダーという役割を勤めさせていただいたこととはこれからの生活においてとても重要なものになると確信しております。私は、いつも他の生徒の模範となるように学業・部活動・生徒会活動の両立を目標に高校生活を過ごしてきました。部活動ではインターハイ出場、進路では第一志望の大学に進学と完全燃焼できた結果になったと考えています。

今回このような名誉ある賞を受賞させていただいたことは、私が辿ってきた道は決して間違っていないのだという証明となりました。今までは本当に自分自身は学校の代表としてふさわしいのか、と不安になることもありました。この賞が自信

となり、もう迷わずに前へ進むことができます。改めて、今回の選抜本にありありがとうございます。この大きな重圧を実感しましたが、応援団の仲間たちや先生方に支えられ、最後の定期戦もやり遂げることができました。結果は惜敗でしたが、この悔しさをバネに、私たちの思いを継いだ後輩たちが来年再び凱歌を歌い上げてくれることを強く信じています。私は高校に入るまで人の前に立つことが少なく、誰かのために働くということに消極的でした。しかし応援団としての活動を通じて、大勢の仲間とともに励む力の大切さと他者のために汗を流すことの素晴らしさを学びました。今後は将来の目標である経営者となるために大学で経営学を学びます。

応援団で得られた経験は大学、そして社会に出た後にも活かせるものだと思います。最後は東京蛍雪賞という名誉ある賞を受賞できたことに大きな喜びを感じたとともに、応援団長を務めたことを誇りに思います。

この度はは仙台蛍雪賞という名誉ある賞を賜り、大変嬉しく存じます。この賞を受賞できましたのも、家族、先生方、友人の励ましがあったからこそです。心から感謝申し上げます。古川高校で過ごした日々は決して楽しいものばかりではありませんでした。勉強や部活動で壁にぶつかるとも何度もありました。そして何よりも新型コロナウィルスの流行に苦しめられました。人と人の間に距離が生じ、マスクで感情が見えづらくなって、当たり前が失われた日々を何度恨んだか分かりません。しかし、そんな状況下でも、工夫を凝らして様々なイベントを成功させていく同志の姿に古川高校の生徒の底力を感じました。私自身も、友人と支えあい、困難に立ち向かっていく中で、辛い環境を耐え抜く忍耐力、よい方法を考えようとすると、姿勢、人と関わり合うことの尊さを学び、古高生としての誇りを感じることができました。まだまだ先の見えない日々が続きますが、古川高校での学びを生かしてこれからの人生を生んでいきたいと思っています。



今回の受賞にあたり、これから先、仙台蛍雪賞の名に恥じないように努めます。努力していきたいと思っています。本当にありがとうございます。

この度はは仙台蛍雪賞という名誉ある賞を賜り、大変嬉しく存じます。この賞を受賞できましたのも、家族、先生方、友人の励ましがあったからこそです。心から感謝申し上げます。古川高校で過ごした日々は決して楽しいものばかりではありませんでした。勉強や部活動で壁にぶつかるとも何度もありました。そして何よりも新型コロナウィルスの流行に苦しめられました。人と人の間に距離が生じ、マスクで感情が見えづらくなって、当たり前が失われた日々を何度恨んだか分かりません。しかし、そんな状況下でも、工夫を凝らして様々なイベントを成功させていく同志の姿に古川高校の生徒の底力を感じました。私自身も、友人と支えあい、困難に立ち向かっていく中で、辛い環境を耐え抜く忍耐力、よい方法を考えようとすると、姿勢、人と関わり合うことの尊さを学び、古高生としての誇りを感じることができました。まだまだ先の見えない日々が続きますが、古川高校での学びを生かしてこれからの人生を生んでいきたいと思っています。

この度はは仙台蛍雪賞という名誉ある賞を賜り、大変嬉しく存じます。この賞を受賞できましたのも、家族、先生方、友人の励ましがあったからこそです。心から感謝申し上げます。古川高校で過ごした日々は決して楽しいものばかりではありませんでした。勉強や部活動で壁にぶつかるとも何度もありました。そして何よりも新型コロナウィルスの流行に苦しめられました。人と人の間に距離が生じ、マスクで感情が見えづらくなって、当たり前が失われた日々を何度恨んだか分かりません。しかし、そんな状況下でも、工夫を凝らして様々なイベントを成功させていく同志の姿に古川高校の生徒の底力を感じました。私自身も、友人と支えあい、困難に立ち向かっていく中で、辛い環境を耐え抜く忍耐力、よい方法を考えようとすると、姿勢、人と関わり合うことの尊さを学び、古高生としての誇りを感じることができました。まだまだ先の見えない日々が続きますが、古川高校での学びを生かしてこれからの人生を生んでいきたいと思っています。

今回の受賞にあたり、これから先、仙台蛍雪賞の名に恥じないように努めます。努力していきたいと思っています。本当にありがとうございます。

この度はは仙台蛍雪賞という名誉ある賞を賜り、大変嬉しく存じます。この賞を受賞できましたのも、家族、先生方、友人の励ましがあったからこそです。心から感謝申し上げます。古川高校で過ごした日々は決して楽しいものばかりではありませんでした。勉強や部活動で壁にぶつかるとも何度もありました。そして何よりも新型コロナウィルスの流行に苦しめられました。人と人の間に距離が生じ、マスクで感情が見えづらくなって、当たり前が失われた日々を何度恨んだか分かりません。しかし、そんな状況下でも、工夫を凝らして様々なイベントを成功させていく同志の姿に古川高校の生徒の底力を感じました。私自身も、友人と支えあい、困難に立ち向かっていく中で、辛い環境を耐え抜く忍耐力、よい方法を考えようとすると、姿勢、人と関わり合うことの尊さを学び、古高生としての誇りを感じることができました。まだまだ先の見えない日々が続きますが、古川高校での学びを生かしてこれからの人生を生んでいきたいと思っています。

支部だより

関西雪雲会

会長 高橋達也
(昭和47年卒・高24回)

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の終息がみられない中、当会の活動も長く滞っている状態です。例年11月に開催している同窓会ですが今年は早めの時期に実施できればと予定していましたが関西地区の感染者数の推移をみますと、すでに5月連休後の増加、8月夏休み後の増加が危惧されることから厳しい状況です。開催においては感染者を出さない事が前提ですのでこのような状況が続くようでしたら開催への影響が避けられないと感じています。今後の状況をみながら開催の判断をしていくところです。

関西地区の同窓生の皆さんに特に関心して心配するような情報はありませんので安心していただければ幸いです。いづれにしろ昨年同様このような状況が一刻も早く終息することを願っています。最後に当会役員の変更はありません。今年もよろしくお願いいたします。



在京古高同窓会

事務局長 佐々木恭次
(昭和38年卒・高15回)

昨年の活動報告の筆を執るにあたって、一昨年と同様コロナ禍でほぼ全ての同窓会活動が中止になりました。総会中止に伴い、6月末に議案書を全員へ送付して、回答書で、決算・予算案を議決した形になりました。1月末の旧古川市内四校合同新年会は、当初都内の感染者数が一日20人前後と減少し、開催できるのではと目論んでおりましたが、オミクロン株が急激に拡がって開催を中止せざるを得ませんでした。古高が幹事校としての演奏会は、再び次年度に繰り延べにせざるを得ませんでした。

本会報が配布される頃には、6月26日総会が開催時期かと思いますが、本年は、御徒町の総合宴会場「オールドラム」で3年振りに開催予定しております。招待講演は、南極観測隊4回参加(夏・冬隊長含む)の国立極地研究所名誉教授 佐藤夏雄氏に「南極の大自然と観測隊」の講演をいただきます。また役員改選が繰り延べになっておりますので、若返りを図って新体制でスタートする予定でおります。昭和48年卒伊藤健二が新会長に就く予定でおります。

小生の約20年間務めた役目も終える予定です。古高同窓会の末永い発展を願っております。永らくお世話になりました。

在仙同窓会

幹事長 齋藤修正
(昭和60年卒・高37回)

古高同窓生の皆様には、益々ご活躍のことと存じます。さて、令和4年度在仙古高同窓会定期総会は、皆様の安全を考慮いたしました結果、やむなく延期させていただきます。ワクチン接種も大分普及し、感染者数も減少傾向が続いておりますので、総会のご案内ができる日もそう遠くないものと思います。正式日程が決まり次第ご案内を差し上げたいと思っております。よろしくお願いいたします。

今年に入り、観光や飲食業界にも回復基調がみられ前向きな年になるうかと思つた矢先のウクライナの情勢に我々も他人事ではいられないような緊張感のあるニュースが連日報道されています。一刻も早い収束を願うばかりです。

平和の尊さと人間の最も崇高な行為である文化、芸術、スポーツを謳歌できるこの国に感謝し、次の世代に受け継いで行かなければならないと改めて思います。

県庁同窓会

幹事長 千葉智幸
(昭和62年卒・高39回)

県庁古川高等学校同窓会は、会員数約400名を擁し、県庁内でもその会員数の多さを誇っています。また、例年11月に総会を開催し、100名近い会員の出席により盛大に開催していただくことができました。この2年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止でしたが、今年度は例年同様開催いたします。

コロナ禍の2年間会長を務められた大森克之総務部長(昭和55年卒、高32回)、名誉会長の佐野好昭副知事(昭和51年卒、高28回)がこの3月退職され、令和4年度は山下浩之新会長(昭和56年卒、高33回)のもと、これまでどおり幹部職員から若手職員まで一体感の取れた唯一無二の同窓会となるよう努力してまいります。

とともに、今年度は総会を開催すべく準備を進めてまいりますので、諸先輩方の変わらぬ御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。また、県においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動との

両立に向けて取り組んでいくところであり、引き続き県職員一丸となって尽力してまいりますので、古川高等学校同窓会会員の皆様をはじめ、県民の皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

教職員雪雲会

幹事長 佐々木伸
(昭和60年卒・高37回)

令和3年度の総会は11月13日(土)に開催を予定していましたが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。例年であれば、40名から50名ほどの公立高校・特別支援学校に所属する同窓生がホテル白萩に集い、先生方の悩みや喜びを共有しながら共に励まし合う予定でした。しかし、このような状況下では開催を断念せざるを得ませんでした。

年が明け、一時は感染状況もだいぶ落ち着き役員会を開く予定でしたが、第6波の感染拡大により、役員会ですら断念せざるを得ない状況になりました。このような状況下でも、役員同士メールで連絡を取り合い、中には「皆様とお会いすることが叶わず大変残念です。」「せめて役員会が行われるように、コロナ禍が下火になるのを待ちたいと思います。」など、『雪雲会

加美支部

事務局長 諸岡敏博
(昭和46年卒・高23回)



映画監督の中島悠作氏(平成25年卒・高65回)の新作「馬鹿者の軍団」が完成しました。中島監督は2019年ゆうばり映画祭の短編映画部門で「極東ゲバゲバ風雲録」がグランプリを受賞しています。審査員は「愛おしい、

美里支部

事務局 末永裕悦
(昭和52年卒・高29回)

長く美里支部支部長を務められた沼津敬太郎氏(13回卒)のご勇退、遊佐清氏(20回卒)の新支部長就任でスタートした令和3年度でしたが、新型コロナウイルスにより、支部の活動もまったく停止した一年間でした。年に数回開催していた季節ごとの懇親会も令和2年2月の新年会から開催できていない状況です。笑顔で乾杯できる日を心待ちにして

ロケは鳴瀬川河川敷や町内の駄菓子屋、また個人宅も借りて行われ、「馬鹿者の軍団」でネット検索すると特報で一端が流れます。公開はまだですが、なんと監督は完成と同時に岩手県の花巻市に婿入りしたのです。持参金替わりの作品だったのか。監督にお会いしたい方は中新田の土曜日カフェ「路上」にお出かけください。なお、映画には私も出演しています。



いる今日この頃です。さて、このような新型コロナウイルス禍の中ではありましたが、今年の3月20日、美里町の美里町文化会館において「古川高校吹奏楽部OB会記念演奏会」創部60周年&友川廣人先生指導者生活60周年記念」のコンサートが開催されました。友川先生の指揮で50数名の吹奏楽部OBが素晴らしい演奏を繰り広げ、合唱団OBの賛助出演も会場を盛り上げました。プロの演奏家として活躍する方や趣味で音楽を続けている方々が一堂に会して演奏する姿は、まさにOB会ならではの光景です。友川先生は、ご自身も同窓生で、昭和39年から25年

間、母校古川高校で音楽の教鞭を執られ、吹奏楽部をはじめ合唱やマンドリン部の指導にも尽力し、優秀な成績を修めるクラブに導きました。現在でも美里町の小田田混声合唱団をはじめ地域の音楽団体を指導するなど精力的に活動されています。今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

高総体

東北大会出場

東北大会に参加して
二年四組 西塚新平

今回の東北高校総体では自分の走りができたと思う。初の東北大会で緊張したが、会場の雰囲気にもまれず自分の力を発揮することができた。これは自分を成長させてくれるいい経験となった。自分のラインに入った瞬間のワクワクは今でも忘れない。また、トップレベルの選手の動きを見て学ぶ部分もたくさんあった。学んだことを今後の練習で意識して自分の成長につなげたい。

今大会を通じて、陸上は団体競技であることを再認識した。自分が出場できたのも、一緒に頑張ってきた仲間のおかげだ。

選手やサポートしてくれた先生やマネさんのおかげだと改めて感じた。今大会で自分が感じたことを皆に共有できればと思う。そして三年生の先輩が引退した今、これからの新人大会や来年の高総体でこれまで以上の活躍ができるように、短距離ブロック長として皆を引っ張っていきよう頑張りたい。



東北大会に参加して

一年二組 佐藤謙臣
私は青森県で開催された東北大会に四×一〇〇メートルリレーと四×四〇〇メートルリレーで出場しました。

私にとつてこの大会は、今後の成長の糧となるものでした。私は一年生でまだ経験も少ないため、緊張とプレッシャーでいっぱいでした。自分が失敗してしまつたら、今年最後の先輩方の大会を台無しにしてしまつたらどうしよう。と自分の事で精一杯だった私を、先輩方が気軽に走れと言ってくれたため、心の少しゆとりができました。そのため、四×四〇〇メートルリレーで予選を通過し準決勝へ進むことができました。準決勝では、決勝へ進むことはできませんでしたが、東北大会という舞台で全力で走り、自己ベストを更新し、最後は笑顔で終わることができたので嬉しかったです。

私はこの貴重な経験を今後活かすとともに、東北大会に行かなかつた部員に、学んだことを伝えていきたいと思えます。そして来年こそは、東北大会の決勝に残れるような選手になります。

同窓会入会式

令和3年度

「コロナ禍における同窓会入会式」



令和3年2月28日(月)卒業式の前日に同窓会からは伊藤貞嘉会長はじめ4名が出席し、卒業式の準備がすっかり整った体制で音楽の教鞭を執られ、吹奏楽部をはじめ合唱やマンドリン部の指導にも尽力し、優秀な成績を修めるクラブに導きました。

育館において、毎年恒例の同窓会入会式が行われました。同窓会活動の説明と歓迎の言葉、卒業生に対する今後の期待などのお話しをいただきました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け在校生との意見交換会は設けず簡素の形で実施となりましたが卒業生の同窓会活動へ理解と今後の協力を得るには有効な入会式になったと思

入試合格状況

令和4年3月卒業生の進路状況

	国公立大学	私立大学	国公立短大	私立短大	大学校	専修各種	就職	受験準備	その他
合格者	96	499	4	4	0	高看 10	公務員 5	13	0
進学者	88	105	2	4	0	一般 9	民間 1		

3、私立大学合格者数(延べ数)

	入試年度	4年度
		22
大学	現役	過卒
岩手医科大学	4	
東北学院大	160	
東北工業大	38	
東北福祉大	41	1
東北医薬大	5	1
宮城学院女子大	57	
仙台白百合女子大	4	
石巻専修大	7	
尚綱学院大	7	
東北文化学園大	16	
東北芸術工科大	2	
国際医療福祉大	9	
獨協大	2	
青山学院大	3	
北里大	2	
慶應義塾大	1	1
國學院大	3	
駒澤大	1	
芝浦工業大	2	
専修大	3	
中央大	4	2
東海大	5	
東京農業大	4	
東洋大	2	1
日本大	8	
法政大	1	1
明治大	3	
立教大		1
神奈川大	4	
同志社大	1	
立命館大	4	1
その他の大学	96	2
私立大合計	499	10

1、国立大学合格者数

	入試年度	4年度	現役
		22	
大学	現役	過卒	男 女
北海道大学		1	1
室蘭工業大	1		
北海道教育大	4		2 2
弘前大	3		2 1
秋田大	4		2 2
岩手大	15		12 3
東北大	4	2	3 1
宮城教育大	12		5 7
山形大	11		9 2
福島大	3		1 2
茨城大	1		1
筑波大			
宇都宮大	3		3
埼玉大	1		1
千葉大	1		
東京工業大			
群馬大	1		1
横浜国立大		1	
新潟大	1		1
信州大	1		1
山梨大		1	
金沢大			
大阪大			
大阪教育大	1		1
広島大			
京都教育大			
岡山大			
鳥取大	1		1
九州大			
琉球大	1		1
国立大合計	69	5	46 23

2、公立大学合格者数

	入試年度	4年度	現役
		22	
大学	現役	過卒	男 女
青森公立大	1		1
岩手県立大	2		2
宮城大	8		2 6
群馬県立県民健康科学大	2		2
高崎経済大	3		2 1
前橋工科大	1		1
横浜市立大	1		1
都留文科大	4		3 1
山梨県立大	1		1
新潟県立大	1		1
長岡造形大		1	
三条市立大	1		1
富山県立大	1		1
県立広島大	1		1
神戸市立外語大		1	
島根県立大			
公立大合計	27	2	12 15

国公立大合計	4年度	現役
	現役 過卒	男 女
	96 7	58 38



今春卒業した74回生は、男女共学15期生となります。男子が121名、女子108名、文系と理系のクラスがそれぞれ3クラスで、文理がほぼ均衡した学年でした。74回生の国公立大の現役合格者数は96名であり過去2番目に多く、合格率は過去最高でした。推薦・総合型での合格者は20名で、積極的にチャレンジした結果が表れていました。最終的な国公立大進学者数は88名で、国公立大に合格しながらも地元もしくは意中の私立大に進学した者が5名いました。74回生は入学次から英語を苦手としている生徒が多く、模試の成績もあまり振るいませんでした。そのため難関国立大への合格は東北大の4名のみと今一つでしたが、最後まで粘り強く努力して本番でよく健闘し、結果を残したと言えると思います。東北大に合格した4名のうち、AOⅡで2名、AOⅢで1名が出願し、それぞれ1名ずつ合格し、合格率は67%に上がりました。しかし、一般選抜では12名受験して2名の合格にとどまりました。学部別には、文学部、経済学部、工学部、医学部(保健学科)に各1名ずつでした。

毎年受験者の多い岩手大が15名、山形大11名、宮城教育大は12名が合格し、良い結果であったと言えると思います。そのうち、後期合格は7名で、山形大は5名中3名合格しており、後期日程までを見通して戦略的に受験先を検討し、諦めずに挑戦し続ければ、合格の可能性が高いことを示してくれました。

最近の傾向として、後期日程の募集人数は減少傾向、もしくは後期日程を設けない大学が増えています。一方、国公立大学の学校推薦型選抜や総合型選抜の人数枠が広がっています。本校では、学校推薦・総合型で受験する生徒が増加し、合格者も昨年度(14名)より多い20名でした。学校推薦・総合型については「総合的な探究の時間」での探究活動の成果が合否に影響する大きなポイントになっています。

卒業生には、古高での3年間で身につけた力を土台として次なるステージでさらに飛躍し、将来は、社会の各分野におけるリーダーとして活躍することを期待しています。